

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 小松市立板津中学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒923-0014
石川県小松市松梨町丙8番地

E-mail itazu-j@kec.hakusan.ed.jp
Website http://www.hakusan.ed.jp/~itazu-j/

幼児児童生徒数 男子 134名 女子 145名 合計 279名
幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「あい溢れる板津人」を学校教育目標として、生徒が意欲的に学びに参加し、自らの考えを持ち、学び合う活動を通して、基礎的・基本的な知識・技能及び課題解決に必要な思考力・判断力・表現力を身につけることを目指しています。そこで、ESDをその達成の場と捉え、ESDの実践を通して課題解決に必要な思考力・判断力・表現力を身につけることを目標とした。

具体的には、平和、福祉、伝統文化を柱に、①平和学習、②福祉に係わる学習、③伝統文化に係わる学習を行った。

① 平和学習

平和に対して、戦争に対して、生きるということに対して考え、その命の重みも感じながら生きていくことが、自分の生き方を考えることにつながります。自分だけでなく、家族や友達や同時代を生きる多くの人達が平和に生きられることを考えるために、2年生から3年生にかけ平和学習を行った。

具体的に、2年次より「平和」「原子爆弾の恐ろしさ」について自主的な学習を進め、3年次において、修学旅行において広島に行き、「原爆資料館」「平和公園」で、被爆者から直接お話を聞き、学習の深化を進めた。

② 福祉に係わる学習

1年次に、高齢者が生活しやすくなる工夫、介護施設、高齢者が抱える問題、高齢者を対象とするボランティアについて調べたり、実際に、体験したりすることを通して、課題を発見する力、探究する力、話し合いを通し考えを深める力、人とふれあう力、表現する力、生活に生かす力等を付けることを目的に行った。

具体的には、1学期は、近隣の高齢者施設の方に来ていただき、質問を通して調べた。2学期には、疑似体験をしたり、近隣の高齢者施設を訪問し、施設の方と触れ合ったりした。

最後に、いままで学習してきたことをまとめ、発表会をおこなった。

③ 伝統文化に係わる学習

具体的な生活の中での目標を振り返らせ、実際に目標に向かい、困難を乗り越えている人の話を聞き、目標を持ち、その目標を実現するための諸条件を検討しながら希望と勇気をもって実行するとともに、困難に屈しないでねばり強く最後まで着実にやり抜く強い意志と態度を育てることを目標におこなった。

3年の道徳授業において、「酒蔵」について資料として取り上げた。「酒蔵」では道徳授業で杜氏の仕事について取り上げ、その後、地元の酒蔵を見学した。



①の写真 (キャプション)



②の写真 (キャプション)



②の写真 (キャプション)



③の写真 (キャプション)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

ふるさとがはぐくむ 道徳いしかわ

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

① 平和学習は、2年3学期から3年1学期にかけて、総合の学習の時間に位置づけて取り組んでいる。

② 福祉に係わる学習は、1年次で1年間を通して、総合の学習の時間に位置づけて取り組んでいる。

③ 伝統文化に係わる学習は、3年の11月、道徳の時間に位置づけて取り組んでいる。

どの取組も、指導内容を適切に定め、生徒の実態に合わせて指導方法も工夫して取り組んでいる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学力向上ロードマップ（年間計画）を作成し、いつ、どこで、だれが、どのように行うかを明確にして取り組んでいる。学期ごとに取組の検証し、改善しながら行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

活動の評価の方法の一つとして、生徒や教職員にアンケートを取っている。「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」の項目は、肯定的な回答が、教職員 94.1%、生徒 68.2%。「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目は、肯定的な回答が、教職員 94.4%、生徒 83.6%であった。今後も、生徒が自信をもって発表できるように重点的に取り組んでいく。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

今年度、学校研究の研究発表会のなかで、ESDの取組を含め、活動成果を発信した。また、取り組みの資料も提供した。発信のために取り組んできたことは、取り組みの検証となった。参加した方も、とても参考になったという感想をいただいた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

業務改善を図り、今年度学校以外の団体との交流事業はおこなわなかった。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

業務改善を図り、今年度国内外のユネスコスクールとの交流事業はおこなわなかった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

特になし

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- ①平和学習は、2年3学期から3年1学期にかけて、総合の学習の時間に位置づけて取り組む。
②福祉に係わる学習は、1年次で1年間を通して、総合の学習の時間に位置づけて取り組む。
③伝統文化に係わる学習は、2年の2学期、3年の2学期、道徳の時間に位置づけて取り組む。